

中学生からのメッセージ

語り継ごう平和の大切さ

8月4日～7日、広島市で開催された「原水爆禁止世界大会」に、赤平市から2名の中学生が参加しました。この体験を通して感じたことを、感想文にまとめてもらいました。



赤平中央中学校
2年 阿部 千夏さん

私は八月四日に広島へ行きまし
た。この三泊四日の中で学習
したことは山ほどありました。
自分は今どんなに幸せかを広島
に行くことで感じました。私に
は家族がいます。住む家もあり
ます。友達もたくさんいます。

しかし、一九四五年八月六日、
広島にエノラ・ゲイ号が来まし
た。そして八時十五分、原爆ド
ム付近に原爆が投下されました。

その原爆で何人の人が命を落と
したことでしょう。想像してみ
てください。ガヤガヤ賑わって
いた街が一瞬で声もぎわめきも
何もかもが無くなり、周りに人
の死体が無数にあるのを……。私
は被爆者の方の話を聞いて心が
苦しくなりました。なぜ戦争な
んかを日本、いや世界はしてい
たのだろうと改めて感じました。
戦争が終わっても、原爆が落
とされたことが消えたわけでは
ありません。原爆が落とされた
と同時にたくさんの放射線が放

たれました。放射線は家の中に
いる人の体の中にも入り込みま
した。原爆資料館には、斑点がで
きた人、髪が抜け落ちた人、他に
も様々な症状の写真がありまし
た。それを見て、放射線の恐ろし
さを知りました。

ダイ・インでは直接地べたに
寝ころび、原爆の被害にあった
人たちの気持ちを体感しました。
気温が高く地面は熱くなってい
ました。これは気持ちを知らな
いままにやっている事で周りの人は
生きているとわかってるのに、
とても寂しく孤独に感じました。
今の広島は原爆で亡くなった人
たちのそれまでの努力と苦しみ
ながらも力強く生き残った人々
の力であるのだと思います。

今でも戦争をしてい
る国はあります。罪も
なく死んでいく人、殺
したくないのに人を殺
す人がいるのです。戦
争をして何になる、戦
争はしてはなりません。
今、私たちにできるこ
とは何だろうと深く考
えようと思いました。
広島に行つて、実際
に原爆の被害を実感す
ることができ、とても
良い経験になりました。



赤平中学校
2年 林 大智くん

僕は、原水爆禁止世界大会
に北海道代表团として参加する
ため広島へ行ってきました。

初日から様々な平和運動に参
加してきました。その中でも一
番印象に残っているのは、二日
目に行つた子供慰霊祭とフィ
ールドワークです。

子供慰霊祭では、色々な都道
府県から来た子供達が原爆で亡
くなられた方々に黙祷をし、各
都道府県の代表が平和について
スピーチしました。その中で僕
の印象に残った言葉はたくさん
ありますが、中でも印象に残つ
た言葉は「罪のない人達まで死
んでしまい、たくさんの夢や希
望を奪ってしまった原爆を許す
ことができない」という言葉で
す。当時、広島に原爆が落とされ
た時には、なぜか警報が鳴らな
かったのが、人々は防空壕に入
れなかったそうです。そのため
たくさんの人々が亡くなりました。
残念でたまりませんでした。

フィールドワークでは、平和
公園にある七つの慰霊碑を見る
ことができました。その中の一
つの原爆ドームは、被爆する前
は物産館として使われていたそ
うです。爆心地から近く、周りの
建物は壊れてしまった中で半分
近くの形を残して、今も当時の
原爆の恐ろしさを伝えているの
です。僕もすごく心に残り、一生
忘れることはないと思います。

僕は広島での四日間、当時
の広島への悲しみや核爆弾の怖さ
というものを学ぶことができま
した。広島の人たちは、いま熱心
に世界が平和になるように、原
爆を世界からなくすための運動
をしています。核のない本当の
平和な世界にするために、僕達
にできることは何でしょうか。

僕はこれから、自分が広島で
見てきた原爆の恐ろしさを、ま
だ知らない人達に、少しでも多
く伝えていこうと思います。

9月10日は「下水道の日」

「下水道 地球を守る リサイクル」

浸水からまちを…



守

道路や住宅地に降った雨は、雨水マスを通して下水道管へ流れ、浸水からまちをしっかり守ります。

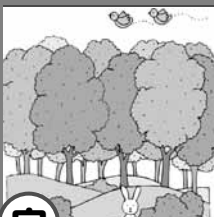
快適な暮らしを…



守

家庭や工場からの汚水は、汚水マスを通して下水道管へ流れ、清潔で快適な生活環境をつくります。

地球環境を…



守

下水道を処理し、キレイにした水を放流することで、川や海の水質を大切に守っています。

あいあい君

おしえて～



どうして9月10日なの？

9月10日は、立春から数えて220日にあたり、この時期は台風による水害がおきやすい季節と言われているんです。

下水道が持つ「雨水対策」という役割にちなみ、この日が選ばれたんですよ。

北海道排水設備工事責任技術者試験

試験日 10月5日(木)13:30

試験地 岩見沢ほか

試験講習 10月に試験地で開催

受付 9月1日(火)～10日(木)

実施機関 (社)日本下水道協会 北海道地方支部

市ホームページにて、上下水道課の業務を詳しく公開！ 問合せ及び申込み 上下水道課管理係 ☎32-2218

SAFETY STATION

防災週間特別イベント

備えよう！災害から身を守るために…

災害はいつ起こるかわかりません。自分の身は自分で守るために何が必要か？前もって「安全の駅」で体験・学習しておきましょう！赤歌警察署の警備課による車両からの救出・救助訓練等、普段はできないことになる体験があります。

すいとん汁・ぶた汁の配給や非常食・缶詰パン試食会も実施

災害の備え 家庭では、いざというときに備え避難場所の確認や非常持ち出し袋を用意しておきましょう！中身は一人で持ち出せる最低限のものを、また一年に一度は必ず点検、電池やミネラルウォーター、缶詰などは古くなっていれば新しいものと交換しましょう。その他にも、災害直後には持ち出せなくても後々使用できるように水やインスタント食品を別にストックしておくことで安心です。

9月5日(土) 11:50～ **参加無料**
安全の駅(東文京町1-1)

ぜひご参加を！



8月30日～9月5日は「防災週間」です。

問合せ 安全の駅 ☎32-3141 (内線25)

定

額給付金
の申請は
お済ですか？

わからないことがあれば、ご連絡ください

赤平市役所定額給付金担当 ☎32-2212

申請期限が迫っています

10月1日で申請の受付が終了します

- ①未だ定額給付金の申請をされていない方(世帯主)は申請期限が10月1日までとなっていますので早めに手続きを行ってください。
- ②転居等の理由により申請書をお受け取りになっていない方は、至急、市役所定額給付金担当までご連絡ください。